

【日南市】

ネットワーク整備計画

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
十分なネットワーク速度が確保できている学校の割合	42.9% (21校中9校)			【目標値】 50%以上	【目標値】 80%以上
アセスメントの実施有無	令和3年度に実施の上、対策済み			更新端末における再アセスメントの実施	
※ ネットワーク速度が確保できている学校については、令和5年度の「校内通信ネットワーク環境整備等に関する調査」における実測値を、令和6年4月26日付け文部科学省通知「学校のネットワークの改善について」の「(別添2)学校規模に応じた当面の帯域の目安(当面の推奨帯域)(詳細版)」と比較して、「当面の推奨帯域」を満たしている学校を確保できるとみなしている。 ※ 本市の学校数は、小学校15校、中学校9校の合計24校であるが、3つの小中一貫校は、同一敷地内において、同じネットワークを使用していることから、小中合わせて1校として計上しているため、学校数の合計は、21校としている。					
ネットワーク整備上の課題			対策または今後の予定		
現行のネットワークを設置した当初、無線通信の電波について、届くと想定していた範囲に届いていない、届きにくい場所があるといった実際の運用にあたって課題があった。			該当箇所については、Wi-Fiルーターの移設や増設を行うことで、通信環境の改善を終えている。 また、年度末から新年度初めにかけて、教室の移設や増減を把握し、通信環境の維持に努めている。		
ネットワークの設置から概ね4年が経過し、部分的に応答遅延等が繰り返される現象が生じている。			発生場所の状況により対応が異なすが、特定の教室や場所で発生することが多いので、都度、保守業者によるWi-Fiルーターリセットや入替え、接続機器の切り替え等により解消を図っている。		
令和5年度の「校内通信ネットワーク環境整備等に関する調査」において、「学校のネットワークが遅い・繋がりにくいと感じることはありますか」の問いに対して、「ほとんどない」が3校、「たまにある」が18校であり、快適とまではいかないものの、概ね不便を感じることなく使用できていると認識している。			今後、デジタル教材の活用が増えることで、ネットワークへの負荷も増加していくと予測されるが、現行として、通信環境に大きな不具合は生じていないことから、端末更新による影響ふまえた状況判断を行うために、新端末運用下で改めてネットワークアセスメントを実施し、必要な措置をとる計画である。		